

ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2012年4月～2013年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表  
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満  
たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていた  
だきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 大阪府立北淀高等学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中等高等学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 その他 ( )

住所 〒 533 - 0013  
大阪市東淀川区豊里-11-35

Website : http://www.osaka-c.ed.jp/kitayodo/

児童生徒数 : 男子 299 名 女子 476 名 合計 775 名  
児童・生徒の年齢 15 歳～ 18 歳

2. 担当者

3. 実施活動 (複数選択可)

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

#### 4. 活動概要

1年間の主な活動内容について簡単に記載願います（欄が足りなければ、添付資料をつけていただいても構いません）。

##### ○留学生との交流から学ぶ（第2学年）

1. 実施期間：2012年10月18日、25日（事前学習・準備）、11月7日

2. 実施形態：プロジェクトFC（総合的な学習の時間）

3. 目的・目標

- ①留学生との出会い・交流を通して、文化の異なる人々と直に触れ合うことの喜びを体験し、また異文化への共感的理解を深める。
- ②世界の事情を学び、国際社会に生きる自己を自覚する。
- ③留学生との学びあいを通して、自己と他者のつながりや、社会の中での自分の価値とあり方について考える。
- ④交流の企画、準備等を通して、能動的、積極的な態度を身につける。また、本学習を通して、将来の目標を前向きに考えるよう働きかける。

4. 他機関等との連携

大阪大学、大阪経済大学、大阪学院大学、大阪成蹊大学

5. 概要

(1) 対象：第2学年（7クラス・約240名）

(2) 学習過程と内容

①事前準備

事前学習で、当日のプログラムの確認、役割分担、準備を行なった。まず、1クラスを一班6～8名程度の6グループに分けた。自己紹介の時に渡す名刺を作り、当日使用するカルタ、ウェルカムポスターなどを作り、留学生の人に聞きたい質問を考えた。それ以外にも、写真入りの留学生紹介ポスターを作成して各クラスに掲示し、交流に向けての雰囲気作りや生徒の意識の向上を図った。

②留学生との交流

1時間目は、名刺交換をしながら自己紹介をした後、カルタ取りのゲームを行った。最初に、事前に用意していたカルタの絵に合わせて、読み札と生徒のメモ用紙に留学生の母国語を入れた。覚える時間を取った後カルタ取りのゲームをした。言葉を教えてもらったりゲームをしたりする流れの中で、自然に打ち解けることができたと思う。

2時間目は座談会形式で、生徒と留学生の方がお互いの文化や日常生活について話し合った。生徒からは事前に準備していた質問以外の質問も次々と飛び出し、逆に留学生の方からも質問があったりした。用意してくださった写真等で各国の文化を紹介してもらうなど、和やかな雰囲気の中で交流が行われた。

##### ○ESD活動について（第2学年）

1. 実施期間：2013年1月17日、24日

2. 実施形態：プロジェクトFC（総合的な学習の時間）

3. 目的・目標

- ・ユネスコの活動をDVDやプリントを通して学び、理解する。
- ・北淀高校がユネスコスクールであり、どんな活動をしているかを理解させる。
- ・持続可能性を妨げている事象を身近なところから探し、どのようなふるまいをすればいいか考えさせる。

4. 概要

(1) 対象：2学年（7クラス・約240人）

(2) 学習過程と内容

- ①1年次に学習した識字や貧困問題、日本の国際協力をふまえ、世界の諸課題やユネスコの活動を学んだ。また、ユネスコスクールやESDについても、学習した
- ②大気汚染、ゴミ問題、マングローブ林の開発などのパネル写真や新聞記事をみて思うこと、感じたことをプリントに書かせた。そのあとグループに分け、司会、

書記、発表の役割を決めグループで話し合いをさせた。その後各グループの代表者が発表した。

- ③自分の身近なところにある同じよう問題に気づかせ、自分はどのようなふるまいをすればいいかを考えさせた。

#### ○青年海外協力隊体験者による講演（第1学年）

1. 実施期間：2013年1月10, 17, 24, 28日(事前学習)、1月31日(5・6限 講演会)
2. 実施形態：プロジェクトFC(総合的な学習の時間)
3. 目的・目標
  - ①非識字や学童の労働が大きな問題となっている世界の現状を学び、自分たちの生活を見直すと共に、世界とつながる自分を自覚し、それらと積極的に関わる姿勢を養う。
  - ②世界の文化の多様性を知り、また異文化への共感的理解を深める。
  - ③世界と日本のつながりを知り、日本の国際協力を学ぶ。
4. 他機関等との連携  
JICA, JOCA
5. 概要
  - (1) 対象：第1学年(7クラス・約270名)
  - (2) 学習過程と内容
    - ①事前学習：識字、貧困問題(児童労働)、国際協力や青年海外協力隊についての学習。
    - ②「青年海外協力隊帰国隊員(7名)による講演」：内容については、異文化を学ぶことを基本に、詳細に打ち合わせた。

#### ○大阪ユネスコスクールネットワークの活動について(ユネスコ部)

- ① ESD世界フォーラム準備セミナー [文部科学省 ユネスコパートナーシップ事業]
  - 第1回 6/10 大阪府立大学 中之島サテライト
  - 第2回 7/15 大阪府立大学 中之島サテライト
  - 第3回(第1回全国セミナー) 8/18~19 大阪府立大学 学術交流会館
  - 第4回 10/7 大阪府立大学 中之島サテライト
  - 第5回(第2回全国セミナー) 11/24 大阪府立大学 学術交流会館
  - 第6回(東アジアフォーラム) 1/12~13 大阪府立大学 学術交流会館
- ② R i c eプロジェクト [文部科学省 ユネスコパートナーシップ事業]  
<昨年度より継続>
  - 6/10 田植え
  - 7/28 草取り
  - 11/24 稲刈り
  - 1/19 もちつき <以上京田辺シュタイナー学校にて>
  - 3/20 報告会 <大阪教育大学附属高校池田校舎>

#### 活動時間について(下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)  
 時間外活動の時間を使用  ユネスコクラブの活動として実施  
 その他( )

活動の内容を補完する以下の資料があれば添付願います。※公表しません

- 紙媒体の参考資料(新聞、出版物など)  CD-ROM  写真  
 その他( )